

平成30年度「障害者週間」

みんなで つくる 共生社会



～共に生き、共に考える、明日を～

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するためには、障害及び障害のある人に対する国民の理解と関心を広く深める必要があります。

政府では、毎年12月3日～9日を「障害者週間」と定め、障害のある人の自立と社会参加の支援等に関する活動等をはじめ、様々な取組・行事を行うこととしています。

**毎年12月3日～9日は
障害者週間です。**

障害のある人もない人も共に
生きる社会へ

1 「障害者週間」作品展

平成30年12月3日(月)～9日(日)

▶ 10:00～18:00

[会場] 有楽町駅前地下広場

2 「障害者週間」連続セミナー

平成30年12月6日(木) ▶ 9:30～18:20

7日(金) ▶ 9:30～18:20

[会場] 有楽町朝日スクエア



内閣府



1

「障害者週間」作品展

入場
無料

全国から募集した「障害者週間のポスター」の推薦作品の
原画等を展示します。

日時 平成30年12月3日(月)～9日(日) ▶ 10:00～18:00

会場 有楽町駅前地下広場

主催 内閣府

平成30年度「障害者週間のポスター」入賞作品

最優秀賞

— 小学生区分 —



「楽しいピアノの音」

なにち か ひ み
南日 花陽実
富山県 富山市立
東部小学校 3年

— 中学生区分 —



「私のきもち」

ふ とう さ き
布藤 咲喜
滋賀県 滋賀県立
草津養護学校
中学部 3年

優秀賞

— 小学生区分 —



「一緒に行こう」

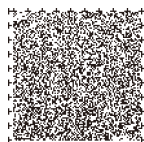
なか むら ゆう か
中村 優香
鹿児島県 枕崎市立
桜山小学校 6年

— 中学生区分 —



「一緒に丸」

にし だ れ み
西田 玲美
徳島県 徳島県立
阿南支援学校
中学部 1年



— 小学生区分 —



「みんななかよし」

うえむら ふみ か
植村 文香

茨城県 守谷市立
松ヶ丘小学校 1年



「しょく手話」

ど い ま ひろ
土居 万紘

愛媛県 松山市立
河野小学校 5年



「困っている人が います・・・」

あ じろ もも か
網代 桃香

仙台市 聖ドミニコ学院
中学校 2年



「みんなでつくる 笑顔のまち」

いわもと かえで
岩本 楓

山口県 岩国市立
灘中学校 3年



「みんななかよし」

ながしま り い こ
長嶋 梨依子

千葉県 いすみ市立
千町小学校 1年



「この席 どうぞ」

みちした りく
道下 陸

大阪府 茨木市立
穂積小学校 4年



「1人ひとりが 輝く舞台」

こんどう み き
近藤 臣希

浜松市 浜松市立
北部中学校 2年



「ヘルプマークは 僕の声」

すぎやま ひかる
杉山 輝

三重県 三重大学教育学部附属
特別支援学校中学部 3年



「だれでもいっしょに オーケストラ」

ゆ あさ けい か
湯浅 慶香

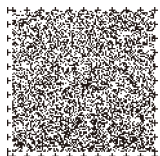
徳島県 徳島市立
助任小学校 4年



「やさしいみんなの 気持ち」

ふな き ゆきまさ
船木 幸将

秋田県 秋田大学教育文化学部
附属特別支援学校中学部 3年



2 「障害者週間」連続セミナー

日時 平成30年12月6日(木)～7日(金) ▶ 9:30～18:20
会場 有楽町朝日スクエア **主催** 各団体

12月6日(木)【1日目】

1 特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構

▶ <http://cudo.jp/>

9:30 ▼ 見逃されてきた色覚障害者への社会の対応 ～わかりやすいはずの色使いが混乱や危険を誘発する～

11:20 「色覚障害」は軽度の障害とされ、生活上困難は少ないとして、理解も対応も十分になされてきませんでした。色があふれる社会で当事者たちにどのようなことが起きているか。困難な事例や対処がなされた事例を多く提示しつつ、あるべき社会について議論を行います。

TEL: 03-6206-0678 FAX: 03-6206-0678 E-mail: support@cudo.jp

2 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

▶ <http://nc.nise.go.jp/>

11:50 ▼ 障害のある子供の教育 ～特別支援教育に関するQ&A紹介～

13:40 当研究所は、障害のある子供と障害のない子供が共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築に貢献するために、特別支援教育の推進に取り組んでいます。本セミナーでは一般の方々に向けた、障害のミニ体験、教材・支援機器の展示、特別支援教育に関するQ&Aを通じて障害のある子供の教育について紹介します。

TEL: 046-839-6803 FAX: 046-839-6919 E-mail: a-hyouka@nise.go.jp

3 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

▶ <http://www.jsrpd.jp/>

14:10 ▼ 読み書き障害児の教育支援 ～デジタル教科書(デージー教科書)の取組と今後の課題～

16:00 当協会では、平成20年度から発達障害など読みの困難がある児童生徒にデージー教科書を製作・提供しています。当初80名だった利用者は、昨年度8千名を超えましたが、未だ一部に限られています。そこで更なる普及を目指し、学校現場での成果や課題等について、行政、特別支援教育の専門家、製作者等による意見交換を行います。

TEL: 03-5273-0601 FAX: 03-5273-1523 E-mail: soumu@dinf.ne.jp

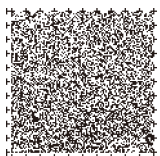
4 特定非営利活動法人 全国言友会連絡協議会

▶ <https://zengenren.jimdo.com/>

16:30 ▼ 吃音とは ～「発達障害者支援施策」&「当事者研究」から～

18:20 吃音は、障害者制度の谷間にある障害と言われて久しいですが、障害者制度改革が一段落した今も色々な捉え方が当事者にも支援者にもあります。吃音とも関連が深い「発達障害者支援施策について」の講演を行政側からしていただき、当事者からは、体験発表や吃音への当事者研究の取組を紹介し、吃音の理解を深めます。

TEL: 03-3942-9436 FAX: 03-3942-9438 E-mail: zengenren@gmail.com



障害者週間の行事の一環として、障害者週間の趣旨にふさわしいセミナーを各団体が開催します。

- お申し込み・お問い合わせは、各セミナーの主催団体まで直接御連絡ください。
- 入場は無料です。(定員は各セミナー100名までとなります。)

12月7日(金)【2日目】

1 全国手をつなぐ育成会連合会

▶<http://zen-iku.jp/>

9:30

「命について」結婚、出産、医療を通して、障害者の人生を考える

11:20

科学・医療技術の進歩は、成熟した長寿国を生み出しました。一方で、出生前診断による命の選別も行われ優生思想の強制避妊の傷も十分に癒えていません。セミナーでは、結婚、出産、医療を通して、障害者の人生を考えてみます。障害があっても結婚し出産もしたい。命を大切にする支援の実際も紹介し、社会のあり方を議論します。

TEL:077-572-9894 FAX:077-572-9894 E-mail:zenkoku-ikuseikai@hyper.ocn.ne.jp

2 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

▶<http://www.jeed.or.jp/>

11:50

発達障害者の雇用を促進するために ～雇用事例から学ぶ職場定着に向けた支援のポイント～

13:40

発達障害のある方の「職場定着」に焦点をあて、企業側から定着に向けた課題への対応等の具体的事例、及び障害当事者の視点から就労にあたっての準備や工夫等について紹介します。また、地域の支援機関との連携状況や支援内容も紹介し、発達障害のある方の雇用促進の方策を考えます。

TEL:043-213-6200 FAX:043-213-6556 E-mail:hiroba@jeed.or.jp

3 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

▶<http://www.nissinren.or.jp/>

14:10

ユニバーサルデザインの街づくりを考える ～好事例からみる街づくりの展望と期待～

16:00

障害のある方や障害者団体が行政機関や民間事業者と連携した取組の好事例などを参考に、協働作業で得られた成果や波及効果について話し合い、地域でのコミュニケーションや期待するユニバーサルデザインの街づくりについて考えます。我が街のこととして、参加者の皆さんと一緒に考えながら情報共有を図ります。

TEL:03-3565-3399 FAX:03-3565-3349 E-mail:jfod@nissinren.or.jp

4 一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

▶<https://jddnet.jp/>

16:30

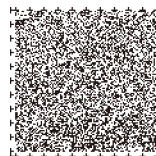
クワイエットアワープロジェクト中間とりまとめ報告 ～発達障害を手掛かりとして音環境について考える～

18:20

感覚過敏の発達障害者の中には、買い物においても、困りごとや困難さを抱えている人がいます。本プロジェクトでは、音や光を緩和し、感覚過敏の人でも安心して買い物に行ける環境を、色々な立場の人と地域が一体となって実現したいと考えています。そのための手法の有効性についてのアンケート調査の報告も行います。

TEL:03-6721-7817 FAX:03-6721-7818 E-mail:office@jddnet.jp

会場のご案内



1 「障害者週間」作品展

有楽町駅前地下広場

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2丁目7番1号先

- ▶ JR「有楽町駅」前
- ▶ 東京メトロ(有楽町線)「有楽町駅」D7出口から徒歩3分
- ▶ 東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)「銀座駅」C4出口から徒歩4分

中央口

C4出口 地下連絡通路で徒歩5分



2 「障害者週間」連続セミナー

有楽町朝日スクエア

〒100-0006

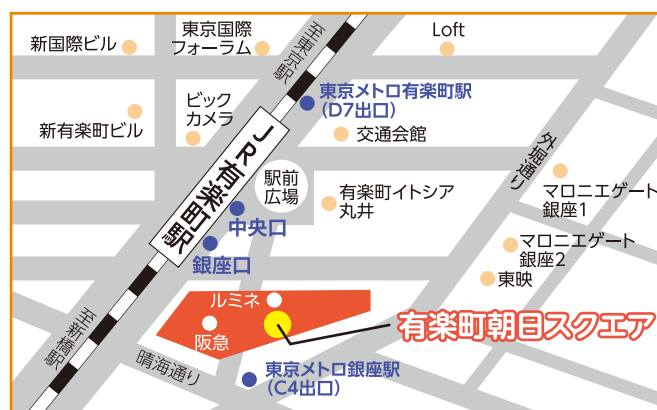
東京都千代田区有楽町2丁目5-1

有楽町マリオン11F

TEL: 03-3284-0131

- ▶ JR「有楽町駅」中央口または銀座口から徒歩3分
- ▶ 東京メトロ(有楽町線)「有楽町駅」D7出口から徒歩3分
- ▶ 東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)「銀座駅」C4出口から徒歩1分

中央口



国、地方公共団体等における障害者週間関連行事について

毎年、障害者週間の期間を中心に、国及び地方公共団体等が、障害者週間の趣旨に沿った障害のある人の自立と社会参加の支援等のための様々な取組を実施します。

詳しくは、内閣府ホームページに掲載しています。是非、お近くのイベント・行事等に御参加ください。

内閣府ホームページ:

▶ <http://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/index-kk.html>

障害者週間に関するお問い合わせ

◆ 内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 付障害者施策担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1

TEL: 03-5253-2111(代表)

◆ 平成30年度「障害者週間」関係事業事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7 NBF日比谷ビル19F

TEL: 03-3597-0173 FAX: 03-3597-0171

E-mail: s-syukan@mcp.co.jp

